



発行者 楽しい株式会社

住所 北九州市若松区向洋町10番1

北九州エコタウン実証研究エリア内

Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303

ハチドリ通心(信)

2010年7月号 E-mail ceres@fun-c.jp URL http://www.fun-c.jp

熊本市のハチドリ 京塚繁栄会の商店街活性化のご紹介



熊本市京塚町は熊本市東部に位置し、新興住宅地として早くから開発された住宅地です。現在、約800世帯で高齢化も進んでいる地域です。京塚商店街も例にもれず買い物客の減少、商店の減少、後継者の問題など多くの問題を抱えており疲弊化が進んでいます。

このような中、京塚商店街(繁栄会)会員とNPO法人九州環境保全循環システムが主体となり、「京塚生き生きカフェ」を中心とした、環境配慮活動、地域の生活支援、健康支援を一体とした「医、食、農」が連携した商店街活性化事業に取り組みます。

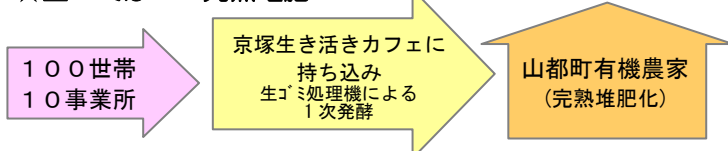
取組内容

京塚商店街の空き店舗を利用して「京塚生き生きカフェ」を開設して地域の住民に開かれたスペース=住民同士のコミュニケーションの場を提供します。

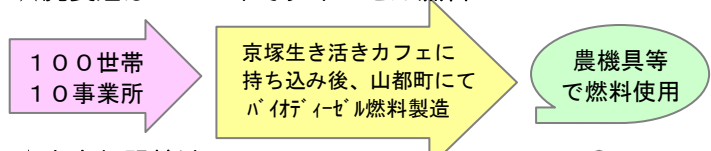
①環境に配慮した活動

家庭や事業所から出る生ゴミ、廃食用油の回収を行い、回収量とCO₂削減量を「見える化」ボードに表示することで、地域の環境への意識向上を図ります。回収された生ゴミは生ごみ処理機による一次発酵後、熊本県山都町で堆肥化され、有機野菜栽培に使用されます。生産された循環野菜は「京塚生き生きカフェ」で調理し提供します。廃食用油は燃料化され農機具等で使用されます。

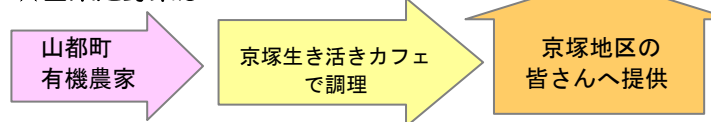
★生ゴミは → 完熟堆肥へ



★廃食用油は → バイオディーゼル燃料へ



★出来た野菜は



モニター(100世帯、10事業所)は京塚生き生きカフェに生ゴミ、廃食用油の持ち込みの都度、生き生きポイントが貰えます。ポイントは通貨(商品券)に交換して、京塚商店街のお店、病院で使うことができます。

1回持参で1ポイント

↓
10ポイント貯まると

↓
生き生き通貨 100円

↓
京塚商店街で使用



②生活支援

★「便利ボックス」の提供

地域の特に高齢者で、日常の買い物に不便を感じている方に、日用品の入った「便利ボックス」を提供し、戸別に使用分の商品補充をします。

★安否確認とお困りごと相談

「便利ボックス」の商品補充をかねた戸別訪問時に、安否の確認やお困りごとの相談を受け、遠方の家族との連絡役を果たします。

★「百笑市」の開催

熊本県山都町で出来た循環野菜や、天草の海産物をトラックで運び、百笑市を3回実施します。



③健康支援

★「京塚生き生きカフェ」内で地域ドクターによる健康教室の実施

- ・自己免疫向上薬膳教室(6月)
- ・薬膳による夏バテ予防教室(7月)
- ・正しい薬の飲み方、扱い方(8月)
- ・転倒予防のための教室(9月)
- ・インフルエンザ予防講習会(11月)
- ・認知予防勉強会(2月)



④コミュニケーションの場の提供

★講座、催し物の実施

- ・テーブルフラワー教室(毎月)
- ・高齢者伝承教室(竹トンボ等)(10月)
- ・グランドゴルフ大会(11月)
- ・高齢者・子供会ふれあい会(2月)



平成22年度熊本市商店街活性化特別支援事業

(平成22年4月~平成23年3月)

- 連携体
- ◆京塚商店街モニター(100世帯 10事業所)
 - ◆京塚商店街(京塚繁栄会)
 - ◆京塚町内会
 - ◆NPO法人九州環境保全循環システム
【全体企画・運営・生き生きポイント通貨管理】
 - ◆山都町有機農家の皆様
 - ◆山都町バイオディーゼル協議会
 - ◆楽しい株式会社(生ごみ処理機提供、LCA評価実施)

京塚繁栄会 坂井会長

「商店街を取り巻く地域の住民がよくなってこそ商店街も良くなる」をコンセプトに、京塚繁栄会は、行政、地域住民、そして繁栄会の三者協働にて町づくりを実行致します。商店街の中心にある空き店舗を利用し環境と福祉を融合させた住民サービスの拠点を設け、高齢者、障害者、子供達、地域の誰もがいつでも気軽に集い笑顔があふれ支えあう場所「京塚生き生きカフェ」を運営し、町と商店街が共に活性、発展することを目指します。



京塚生き生きカフェ
7/17(土)オープン

「京塚生き生きカフェ」は、京塚商店街の中心にある空き店舗を利用し環境と福祉を融合させた住民サービスの拠点を設け、高齢者、障害者、子供達、地域の誰もがいつでも気軽に集い笑顔があふれ支えあう場所「京塚生き生きカフェ」を運営し、町と商店街が共に活性、発展することを目指します。

ハチドリ通心は楽しい株式会社のホームページでご覧いただけます。
URL: www.fun-c.jp/ をご覧ください。(川部が担当しました。)